

「はー…はー…
すしぢ…何いのお●●」……」

「うっ…ぎッんぐん!!」

「ほらほら
しっかりと目に焼き付けとけよ(笑)」

「うっ…んぐんぐん!!」

「七深ま●●…
気持ち…良すぎ…っ
こ…腰止まら…ねえ…!!」

「ひぎっ!!
んぐんぐんぎッん!!」

「やば…ら…
これ…もう無…理…っ!!」
だ…射精すッ射精すよ七深ちゃん!
七深ちゃんの初モノま●●こ
俺が種付けしちゃうからね!!」



「た…たねつけ…って
えっ…えっ…?」

「七深ちゃん
今の内に赤ちゃんの
名前考えとこうね♡」

「あ…赤ちゃ…ん…?」

「俺の…俺の…っ!」
ガキ産ませてやるからな!
ちゃんと孕めよ七深っ!!」

「や…やっ…嫌…
嫌いやあめめめッ!」

「ははっ
暴れても無駄だつての(笑)」

「あああッイッくッイッく!!
孕めっ孕め七深!!
初モノま●ご孕めえええッ!!」

「やつやああアアああッ!」







